

シリーズ菊池遺産

(72)

問い合わせ先 企画振興課
☎0968(25)7250

若宮神社

祭神は菊池経隆（菊池氏2代菊池経隆で、寛文4年（1664年）徳川幕府第4代將軍徳川家綱の時代に建立されました。本殿は菊池経隆公墓上に建立され、毎年11月25日の秋祭りでは獅子舞の奉納、2月25日には春祭りが行われています。



認定番号第ふるさとH27-8号
推薦者 下田区・植古閑区

切支丹墓碑

昭和22年に福本南原の墓地で発見され、数度の移設を経て、現在は泗水公民館内に展示されています。本来はドーム形に伏



認定番号第ふるさとH27-7号
推薦者 福本一区

せて用いる西洋墓石を縦に用い、腹面に碑文を刻み石仏を上に乗せ、キリシタンであることを隠していました。

人権・同和教育シリーズ

133

問い合わせ先 人権啓発課
☎0968(25)7209

忘れがたきふるさと

うさぎ追いかの山
子ぶなつりしかの川
ゆめは今もめぐりて
忘れがたきふるさと

誰もが口ずさみ、何世代も長く歌い継がれてきたこの歌を聞く度に、四季の移り変わりやふるさとの原風景が目につかび、心が癒やされるといふ人がたくさんおられます。

しかし、私たちのふるさと熊本を襲った大地震は、美しい自然や家屋、財産だけでなく、人と人の絆やかけがえのない尊い命までも一瞬のうちに奪い去ってしまいました。熊本の豊かな自然の中で育まれた新鮮な野菜や清らかな水、何不自由ない便利で快適な生活、家族みんなで楽しく暮らしていた毎日の生活。当たり前に思っていた「日常」が、いかに貴重なものであったのかを思い知らされた日々でもありました。

一人暮らしの義母のことが気にかかり、本震後に家を訪ねると、見慣れた風景が途中から一変し、不安で胸の鼓動が高鳴るのを押さえることができませんでした。大きく傾いた家、足の踏み場も

地域人権教育指導員 米村 隆一郎

ない室内、飛び散ったガラス片、崩壊したブロック塀。予想をはるかに超えた惨状にただただ立ち尽くす私たちでもありました。義母は、運良くがれきの中から這い出し、命を長らえたことに感謝しながら隣人の人たちと共にありました。その後、全壊の家の修復は諦め、県外に住む娘のもとで暮らす決心をし、7月には亡き夫の三回忌に久しぶりの帰郷となりました。

「やっぱりふるさととはよかなあ。心の落ち着く。向こうの生活にも慣れたけん、心配せんでよかよ」と、笑顔を浮かべながら懐かしそうに歓談しています。しかし、思いついたいっばい詰まったわが家に帰ることのできない寂しさ、見知らぬ土地で新たな生活を築かなければならない大変さを考えると、とても複雑な思いになります。

山は青きふるさと
水は清きふるさと
豊かな自然に囲まれた人情味あふれる地域の中で、夫や3人の子どもと共に過ごした日々。孫やひ孫に囲まれたにぎやかな正月の思い出も、近所のおしゃべり仲間との楽しい語りも、そこに心のよ

問い合わせ先 消費生活センター
☎0968(36)9450

りどころ「ふるさと」があったからこぞできたことです。そんな忘れがたきふるさととは、誰にとってもかけがえのない大切な宝物であるはずです。

しかし、偏見ゆえにふるさとの地を2度と踏むことのできなかつたハンセン病回復者の方がいます。また、水俣病に対する無理解や差別意識は、「水俣出身」とふるさとを名乗ることを躊躇させました。放射能に対する無知や風評は、ふるさとを奪われた人たちに「放射能がうつる。福島へ帰れ」という悲しい現実を突きつけました。部落差別ゆえに、ふるさとを隠し、ふるさとを離れざるをえなかった人もいます。

誰もが安心して暮らすことのできるふるさと、心の通い合うふるさと、誰もが誇れるふるさとづくりに目指し、人権が大切にされる明るいまちづくりのための「ふるさと懇談会」が、今秋から始まります。

自分たちの住む地域を、自分たちの手で、住みよい地域へつくりあげるために、みんなで集い、みんなで語り合ひましょう。

菊池夢美術館情報

問い合わせ先 菊池夢美術館 ☎0968(23)1155

写真展
期間：～10月10日(祝)
菊池の写真家それぞれの個性ある写真をご覧ください。

古布に遊ぶ 時々堂生徒作品展
期間：10月12日(水)～16日(日)
久留米紬、大島紬などの古布を使用した作品の数々を展示・販売します。



井上彬個展 (絵画・油彩)
期間：10月18日(火)～23日(日)

三嶋天鴻 書道展
期間：10月25日(火)～30日(日)
皆さんのお越しをお待ちしています。



開館時間 午前9時～午後6時
※期間中の閉館日はありません。

わいふ一番館だより

問い合わせ先 わいふ一番館 ☎0968(24)6630

【ギャラリー】
MELクレヨン原画展
期間：～10月2日(日)
クレヨンを重ねて針で引っかく技法で絵を描いています。15年間の作品をまとめて展示します。

菊池溪谷の四季 写真展 安永隆敏
期間：10月4日(火)～30日(日)
気の遠くなるような時間を過ごしてきた溪谷。私は見守って撮影する。苔むした岩場、また水のみしき岩肌に光芒自然そのものである。

【まちかど資料館企画展】
ふるさとに語り継がれる菊池の伝説展
期間：～10月30日(日)
ふるさとの伝説はふるさとの精神風土を形成してきた貴重な文化的財産です。この企画展ではふるさと菊池に語り継がれる伝説を紹介します。

開館時間 午前9時～午後5時
※休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）

ふるさと緑の便り 菊池グリーンツーリズム

問い合わせ先 さくちふるさと水源交流館
☎0968(27)0102

稲刈り・掛け干し体験
里山の自然に包まれて暮らす人々の知恵に学ぶとき、その土地で味わう「食」は人々の心を豊かにしてくれます。

NPO法人きらり水源村では、4～12月まで毎月、四季折々の自然や食を学ぶ「おいしい村」を開催しています。秋は「稲刈り体験」(10月15日～16日)を行います。地元のおじいちゃんやおばあちゃんの手伝いの下、6月に手植えた稲を刈り取り山から切り出した竹を組んで、昔ながらの「掛け干し」にします。今回収穫するのはうるち米ともち米です。

参加者には、農のある暮らしや伝統文化、農業の苦労と喜びを体験してもらい、食の大切さを学んでいただきます。家族・グループ大歓迎です。ぜひご参加ください。(要事前予約)

自然と食が豊かな菊池市。それぞれの地域の暮らしの中に、人を呼び込む「交流のヒント」があります。地域交流活動もグリーンツーリズムの一つです。



稲刈り体験

「はーい」から菊池市消費生活センターですー」

問い合わせ先 菊池市消費生活センター ☎0968(36)9450
(月)～(金)午前10時～正午、午後1時～午後4時 福祉課

熊本地震後、国民生活センターに寄せられた相談は、不動産賃借、工事、建築によるものが全体の半分を占めており、続いて相隣関係修理サービス、火災保険、地震保険の相談が多くありました。

特に工事や建築に関する相談は、工事金額の妥当性や勧誘方法に問題があるもの、業者の信用性を問うものが多く寄せられました。消費者と事業者の間のトラブルだけでなく、瓦が落ちて隣の堀や自家用車を傷付けたなど、修理代が問題となる個人間トラブルの相談も多くありました。

引き続き注意が必要なものは見積もり価格、工事内容などに関するトラブルです。さまざまな手続きを全て業者が行うなどの勧誘には注意してください。

次のケースにご注意ください
①見積額の提示がないまま工事が始まる場合
②屋根を点検すると言って訪問し「このままでは危ない」と不安をおおって契約を勧める場合
③「混んでいるので今日でない」と契約できない「今日中であれば割引する」など検討する時間

